

項目		成果目標	行動目標	総括責任者	実施責任者		
1 民間的経営手法の導入							
①	共通	・診療部長の管理職化とデータに基づく目標管理の徹底	・医業収支比率について目標値を達成する。 総合 97.0% 西和 100.4% リハ 95.6%	本部	・診療部長の管理職化に伴い、給与規程の改正を行う。(H29年度中)	中川理事	本部事務局長
				総合	・業績評価導入に向けて、診療部長を対象に、データに基づく目標管理を徹底する。	菊池理事	経営企画室長
				西和	・各診療科ごとの収益に関するデータベースを作成する。(3月末) ・業績評価導入に向けて、診療部長を対象に、データに基づく目標管理を徹底する。	横山理事	事務部長
				リハ	・業績評価導入に向けて、診療部長を対象に、データに基づく目標管理を徹底する。	宮内理事	副院長(医師)
②	共通	・経営に関わる指標のリアルタイムな明確化と迅速な経営改善のための活用	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	総合	・患者数(日次)、診療単価(月次)など、リアルタイムに取りまとめ、情報共有を行う。	菊池理事	経営企画室長
				西和	・現在も実施している入院患者数の毎日配布、電カルでの情報提供、診療単価などの資料の院議、病院連絡会での周知を継続する。	横山理事	事務部長
				リハ	・患者数(日次)、診療単価(月次)など、リアルタイムに取りまとめ、情報共有を行う。	宮内理事	院長補佐
③	共通	・多様な採用形態の設置と即戦力となる人材の確保	・職員給与費対医業収益比率について目標値を達成する。 総合 55.5% 西和 51.9% リハ 70.9%	本部	・職員体系の見直しを行い、無期労働契約化及び有期職員の新体系に係る給与規程等の改正を行う。(H29年度中)	中川理事	本部事務局長
				総合	・正規雇用職員、有期雇用職員の職務内容を整理し、配置の適正化計画を作成する。	菊池理事	事務部長
				西和	・施設基準維持も踏まえた配置人員を3月末までに、次年度以降の増員要求に関しては6月末までに各部署とのヒアリングを実施し、配置の適正化計画を作成する。	横山理事	事務部長
				リハ	・正規雇用職員、有期雇用職員の職務内容を整理し、配置の適正化計画を作成する。	宮内理事	院長補佐
④	共通	・医師について、国立病院機構を参考とした給与体系の見直し	・職員給与費対医業収益比率について目標値を達成する。(同上)	本部	・診療部長以上の医師について、業績評価制度を導入する。(H29年度中に関係規程の改正)	中川理事	本部事務局長
⑤	共通	・医師以外の職種における職務職階の明確化及び人事評価に基づく昇格・昇級の推進	・職員給与費対医業収益比率について目標値を達成する。(同上)	本部	・昇給ラインの再検討結果をとりまとめる。(今年中を目途)	中川理事	本部事務局長
2 事業規模・事業形態の見直し							
①	共通	・本部事務局の新病院への移転と事務の効率化・経費削減	・病院機構の経常収支比率を改善させる。(96.6%)	本部	・事務効率化についての検討結果をとりまとめる。(H29年度中)	中川理事	本部事務局長
②	西和	・患者動向を踏まえた病床機能の見直しと療養環境の改善(6床室→4床室)	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	西和	・恒常的に病床稼働率80%を下回る時点で療養環境改善を計画する。(平成28年10月～平成29年1月までの平日の病床稼働率が92%となっており、ベッドコントロールが難しいことから病床稼働率の様子を見て判断)	横山理事	事務部長
③	リハ	・一般病棟の一部について地域包括ケア病床に転換	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	リハ	・平成29年11月より一般病棟50床のうち30床を地域包括病床に転換する。	宮内理事	副院長(医師)
3 経費削減・抑制対策							
①	共通	・給与体系、手当の見直し	・職員給与費対医業収益比率について目標値を達成する。(同上)	本部	・業績や成果に応じた給与制度に変更する。(H29年度中に関係規程の改正)	中川理事	本部事務局長
②	共通	・医師の超過勤務の縮減	・超過勤務手当の削減目標を達成する。 総合 33,000千円 西和 39,500千円	総合	・医師の出退勤管理を厳格に行い、過度な超過勤務を削減する。	菊池理事	各診療部長
				西和	・36協定の見直しを行う。 ・医師の出退勤管理を厳格に行い、過度な超過勤務を削減する。	横山理事	事務部長
③	共通	・診療材料の調達コストの削減	・診療材料費対診療収益比率について目標値を達成する。 総合 10.6% 西和 17.1% リハ 4.0%	リハ	・総合と西和の現SPD契約の期限まで、総合リハビリテーションセンター独自でSPD業者に委託する。(平成29年2月下旬契約締結予定)	宮内理事	院長補佐
				本部	・SPD業者への費用削減ノルマの設定を行うなど、経費削減に向けた調達の仕組みに変更する。	中川理事	本部事務局長
				本部	・センター間で共通する同種の診療材料を統合し、品目を減少させる。	中川理事	各センター長
				総合	・個別交渉を行う診療材料について、価格交渉により、前年度より1.5%削減を目指す。	菊池理事	総務課長
				西和	・個別交渉を行う診療材料について、SPD業者の価格交渉により、前年度より削減を目指す。	横山理事	副院長事務部長
				リハ	・個別交渉を行う診療材料について、価格交渉により、前年度より削減を目指す。	宮内理事	院長補佐

項目		成果目標	行動目標		総括責任者	実施責任者	
3 経費削減・抑制対策(つづき)							
④	共通	・薬品の調達コストの削減	<ul style="list-style-type: none"> ・薬品費対診療収益比率について目標値の達成する。 総合 17.7% 西和 11.1% リハ 9.8% ・後発医薬品使用割合について目標値を達成する。 総合 90% 西和 86% 	本部	・競争性の高い調達方法(総価見積方式)に変更する。(H29年度分～)	中川理事	本部事務局長
				本部	・センター購入分について、法人全体としても価格交渉を行い、センター交渉後の価格よりも減少させる。	中川理事	医薬品調達専門員
				総合	・センター購入分について、価格交渉を行い、前年度よりも減少させる。	菊池理事	医薬品調達専門員
				総合	・医薬品の適正在庫管理	菊池理事	薬剤部長
				西和	・センターで購入分について、価格交渉を行い、前回契約価格よりも0.5%削減を目指す。	横山理事	薬剤部長
				リハ	・センター購入分について、価格交渉を行い、前年度よりも減少させる。	宮内理事	院長補佐
⑤	共通	・医療機器のコスト削減	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の購入の必要性、採算性の検討を行う。 ・機種選定に当たり、同等可能品の検討を行う。 ・価格競争性の高い調達方法を行う。 	菊池理事	参与
				西和	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の購入の必要性、採算性の検討を行う。 ・機種選定に当たり、同等可能品の検討を行う。 ・価格競争性の高い調達方法を行う。 	横山理事	事務部長
				リハ	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器の購入の必要性、採算性の検討を行う。 ・機種選定に当たり、同等可能品の検討を行う。 ・価格競争性の高い調達方法を行う。 	宮内理事	院長補佐
⑥	共通	・検体外部検査のコスト削減	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の契約更新を踏まえ、削減目標を定めて価格交渉を実施する。 ・委託業者の絞り込みを検討し、必要に応じて実施する。 ・不採算検査項目の外注化と、収益が見込める検査項目の導入 	菊池理事	中央臨床検査部技師長
				西和	・削減目標を定めて価格交渉を実施する。(平成30年度契約から実施)	横山理事	事務部長
				リハ	<ul style="list-style-type: none"> ・価格交渉を行い、前年度よりも減少させる。 ・委託業者の絞り込みを検討し、必要に応じて実施する。 	宮内理事	院長補佐
⑦	共通	・試薬の調達コストの削減	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	総合	・調達時に参加者を増加させる、一括入札を行う等競争性を高める。	菊池理事	総務課長
				総合	・検査試薬見直しと試薬の効率的な運用によるコスト削減	菊池理事	中央臨床検査部技師長
				西和	・調達時に参加者を増加させる、一括入札を行う等競争性を高める。(平成29年度年度契約から実施)	横山理事	事務部長
				リハ	・調達時に参加者を増加させる、一括入札を行う等競争性を高める。	宮内理事	院長補佐
4 収入増加・確保対策							
①	総合	・適切な入退院調整による高い病床利用率の維持	・病床利用率について目標値を達成する。(79.3%)	総合	・退院調整の推進、ベッドコントロールの充実を図り79.3%の病床利用率の維持。	菊池理事	担当副院長
②	総合	・高度な手術の積極的な実施による診療単価の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・入院単価について目標値を達成する。(68,518円) ・手術件数について目標値を達成する。(7,500件) 	総合	・手術室の効率的な運用(心臓血管外科の手術実施など)によりさらなる手術件数7,500件を目指す。	菊池理事	担当副院長
③	総合	・ER体制による救急受入	・救急患者数、救急車搬送患者数について目標値を達成する。(救急患者数 7,500人 救急車搬送患者数 4,000人)	総合	・当直医師(内科・外科系)と救命センター医師の協働による断らない救急体制の強化を図る。	菊池理事	担当副院長
④	総合	・地域の医療機関との連携強化、積極的な訪問活動による紹介患者数の増加	・入院患者数、外来患者数について目標値を達成する。(入院 341人/日 外来 932人/日)	総合	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介元分析による効果的な訪問計画を作成する。 ・近隣医療機関への訪問を推進する。(月10件訪問) ・あおによし臨時号として診療科だよりなどの紹介資料(新病院に向け、強化する診療科、新たな取組をアピール)を作成・配布する。(1500部程度) 	菊池理事	担当副院長
⑤	西和	・救急医療の充実	・時間外救急患者数、救急車搬送患者数について目標値を達成する。(救急患者数 6,200人 うち救急車搬送患者数 3,100人)	西和	・平成29年4月香芝に救急病院が開設するため、断らない救急を徹底し、患者確保に努める。	横山理事	副院長
⑥	西和	・地域の医療機関との連携強化	・入院患者数、外来患者数について目標値を達成する。(入院 264人/日 外来 625人/日)	西和	・紹介件数の減少した開業医への訪問や公開講座を実施していく。	横山理事	患者支援センター長

項目		成果目標	行動目標	総括責任者	実施責任者		
4 収入増加・確保対策(つづき)							
⑦	西和	・ベッドコントロールの徹底	・病床利用率について目標値を達成する。(88.0%)	西和	・現在と同様に午前退院、午後入院を徹底しベッドコントロールを実施、月曜日入院の徹底だけでなく、日曜日入院も増やしベッドコントロールしやすく工夫する。	横山理事	副院長 (看護部長)
⑧	西和	・糖尿病、呼吸器疾患の専門医の確保	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	西和	・県立奈良医科大学医師派遣センター及び各教室に医師派遣を依頼する。(なお、現時点では両診療科とも派遣は難しいとの意見)	横山理事	事務部長
⑨	リハ	・開業医等への訪問、総合・西和との連携による一般病棟の病床利用率の向上	・病床利用率について目標値を達成する。(92.0%)	リハ	・開業医・病院への計画的・定期的な訪問を行うと共に総合・西和からの患者の積極的な受け入れを行い、年間を通じ90%を超える病床利用率を目指す。	宮内理事	副院長(医師)
5 その他							
①	総合 西和	・DPC II 群病院の取得	・DPC II 群病院を取得する。	総合	・DPC分析ソフトを活用し、DPC II 群を取得するための要件分析や、対策を実施する。	菊池理事	経営企画室長
				西和	・内保連試案の内科25疾患の対象患者を増加させることで、基準値をクリアし、平成30年度のDPC見直し時に取得を目指す。	横山理事	副院長
②	西和 リハ	・経営上の負担を考慮した、施設整備や医療機器の計画的更新	・医業収支比率について目標値を達成する。(同上)	西和	・建物老朽化及び耐用年数経過の医療機器が見受けられるので、業務の効率化を踏まえて計画的に更新していく。	横山理事	事務部長
				リハ	・医療安全や患者サービス、経営状況を考慮のうえ、優先順位をつけて計画的に実施していく。	宮内理事	院長補佐
③	リハ	・病院機能評価の認証取得	・病院機能評価の認証を取得する。	リハ	・平成29年1月18～19日に受審した結果(3月に中間的な結果報告)を受け、必要な点を改善していく。	宮内理事	院長補佐